



市議会だより

にほんまつ

第27号

6月定例会号

平成24年8月1日発行
発行：二本松市議会
福島県二本松市金色403-1
Tel.0243-55-5143/Fax.0243-22-6047



2年ぶりの学校プールでの授業（原瀬小学校）

一般会計補正予算及び国民健康保険税条例の一部改正等16議案を可決

定例会概要 2

請願のしかた

お知らせ 4

継続調査結果報告（市民産業常任委員会）

調査報告 5

行政課題の解決に向けて 各常任委員会審査報告

委員会報告 6

市の明日を考える

一般質問に16人が登壇

・中学校の柔道の授業について ほか

一般質問 10

議会の動き・お知らせ ほか

お知らせ 16

100億円の一般住宅除染費含む一般会計補正予算及び 国民健康保険税条例の一部改正等16議案を可決

二本松市議会6月定例会は、6月5日から20日までの16日間を会期として開催されました。本定例会での議案は、平成24年度一般会計補正予算、二本松市国民健康保険税条例の一部改正など、市長提出議案14件、議員提出議案2件、人権擁護委員候補者の推薦1件でした。

初日は、市長の提案理由説明の後散会となりました。11日は一般質問に入る前に、議員1名の質疑があり、その後14日までの4日間にわたる一般質問では、16名の議員が放射能対策を初め、市政全般について質問を行いました。一般質問終了後から20日までは4常任委員会に付託された議案を慎重に審査しました。

20日本会議が再開され、各常任委員会に付託された案件について審査結果の報告があり、100億円の一般住宅除染費を含む124億円の一般会計補正予算を初め、二本松市国民健康保険税条例及び、二本松市東日本大震災による被災者に対する市民税等の減免に関する条例等の一部改正を含めた全ての議案について原案のとおり承認・可決されました。

大飯原発の再稼働に反対する意見書の提出を含む、議員提出議案2件も原案のとおり可決されました。

条 例

◎専決処分の承認を求めることについて

(二本松市税条例及び二本松市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について)

固定資産税の土地にかかる負担調整措置の継続等、並びに東日本大震災に係る国民健康保険税の課税特例について、所要の改正を行ったもの。

◎二本松市印鑑の登録及び証明に関する条例及び二本松市出産祝金支給条例の一部を改正する条例

外国人登録法の廃止により、外国人住民にも住民基本台帳法が適用されることに伴い改正するもの。

◎二本松市下水道条例及び二本松市安達処理区及び岩代処理区下水道条例の一部を改正する条例

法律改正及び福島県下水道公社の公益認定に伴い、所要の改正を行うもの。

◎二本松市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

資産割を二分の一に引き下げるとともに、応能・応益の賦課割合も、医療分について、後期高齢者支援金分と同率の50対50とするもの。

◎二本松市東日本大震災による被災者に対する市民税等の減免に関する条例の一部を改正する条例

東日本大震災の被災者に対する国民健康保険税及び介護保険料の減免を平成24年度においても行うため改正するもの。

◎二本松市子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

18歳以下の県民の医療費無料化助成事業の実施に伴い、現行の子ども医療費助成事業の助成対象年齢を出生から18歳までに拡大するための改正。

補正予算

◎ 二本松市一般会計補正予算

原発災害による一般住宅除染事業において、子ども及び妊婦のいる全世帯の除染を早期に完了するための措置や、水田及び草地の除染並びに24年産米全袋検査に要する経費等を措置するもの。

【歳出の主なもの】

○総務費

旧原瀬小学校校舎等解体事業費の増	15,538千円
復興交付金による復興まちづくり計画策定事業費の増	30,000千円

○衛生費

一般住宅放射能除染事業費の増	10,000,000千円
震災被災家屋等撤去事業費の増	131,909千円

○農林水産業費

水田原発事故対策事業費の増	1,484,129千円
畜産原発事故対策事業費の増	344,915千円
水田農業改革支援事業費の増	18,100千円
園芸・畑作施設整備事業費の増	5,016千円

○商工費

震災被災旧アークホテル解体事業費の増	131,214千円
--------------------	-----------

○教育費

学校給食食材検査機器購入費の増	39,450千円
-----------------	----------

○災害復旧費

放射線量低減化促進対策として小・中学校敷地内植栽伐採等事業費の増	156,975千円
----------------------------------	-----------

歳出における必要財源の合計額が124億4,112万5千円となり、歳入における補正合計額は124億3,517万円で、差引不足額595万5千円は、予備費を減額して措置した。

その他

◎人権擁護委員候補者の推薦について

小幡美紀子さん(亀谷・再任)を適任と認めました。

◎二本松市田沢財産区管理委員選任の同意について

遠藤和男さん、門馬廣江さん、菅野久さん、遠藤徳雄さん、菅野健一さんを適任者と認め同意しました。

○市長提出議案とその審議結果

議案番号	件 名	結 果
第51号	専決処分の承認を求めることについて (二本松市税条例及び二本松市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について)	原案承認
第52号	福島県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	原案可決
第53号	二本松市印鑑の登録及び証明に関する条例及び二本松市出産祝金支給条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第54号	二本松市下水道条例及び二本松市安達処理区及び岩代処理区下水道条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第55号	二本松市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第56号	二本松市東日本大震災による被災者に対する市民税等の減免に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第57号	二本松市子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第58号	財産の取得について	原案可決
第59号	市道路線の認定について	原案可決
第60号	平成24年度二本松市一般会計補正予算	原案可決
第61号	平成24年度二本松市国民健康保険特別会計補正予算	原案可決
第62号	平成24年度二本松市工業団地造成事業特別会計補正予算	原案可決
第63号	平成24年度二本松市水道事業会計補正予算	原案可決
第64号	二本松市田沢財産区管理委員選任の同意について	同 意

○議員提出議案とその審議結果

議案番号	件 名	結 果
第 6 号	大飯原発再稼働に反対する意見書の提出について	原案可決
第 7 号	国民健康保険制度における国庫負担の増額を求める意見書の提出について	原案可決

討 論

議案第55号 二本松市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について
議案第61号 平成24年度二本松市国民健康保険特別会計補正予算

斎 藤 広 二 議員

今回、1人当たり医療・後期高齢者支援分で前年対比263円引き下げ、介護分で1,196円引き上げとなる。

しかし所得がなくても課せられる人数割1,200円、世帯割1,900円を引き上げるとする案は、所得30万円未満の世帯が国保世帯の38%を占めており、4人世帯の場合所得の2割を超えることから据え置くべき。

市内8,672国保世帯の約6割は所得100万円以下、平均所得も合併時より17万円落ち込み85万円。滞納世帯も26%で滞納額は6億4千万円。すでに国税は負担の限界となっている。

以上の理由により反対する。

6月定例会賛否一覧

※これ以外の議案等は全会一致で承認可決されています。

議員名 議案名	議決結果	賛成：反対	平塚興志一	熊田義春	安斎政保	深谷勇吉	菅野寿雄	堀籠新一	佐藤有	佐藤公伯	本多勝実	菅野明	中田涼介	小林均	安部匡俊	浅川吉寿	平敏子	新野洋	野地久夫	斎藤広二	佐藤源市	斎藤周一	高橋正弘	鈴木利英	市川清純	五十嵐勝蔵	平栗征雄
議案第55号 二松市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	22：3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第61号 平成24年度二本松市国民健康保険特別会計補正予算	原案可決	22：3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第7号 国民健康保険制度における国庫負担の増額を求める意見書の提出について	原案可決	14：11	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※○は賛成、●は反対。 ※議長（斎藤賢一）は採決に加わっていません。

ご存じですか請願のしかた

市民のみなさんに限らず、どなたでも市政などへの要望や意見を請願書として議会に提出することができます。

請願の取扱い

議会に提出された請願は、内容により担当する委員会で慎重に審査され、会議で採択・不採択を決定します。

採択されたものは、市長にその実現を要望したり、国や県、関係機関に意見書や要望書を提出したりします。

受付

- 提出場所 二本松市役所議会事務局（市役所5階）
- 受付締切 定例会開会日の概ね5日前の午後5時まで（※請願は3月、6月、9月、12月の定例会で審査されます。締切日を過ぎた場合は、次回の定例会扱いとなります。）

注意事項

- ・邦文で記載してください。
- ・請願の場合、紹介議員の署名か記名押印が必要です。
- ・請願書には、請願の趣旨、提出年月日、請願者の住所・氏名を必ず記載し、請願者の押印が必要です。
- ・請願書は、1件の件名ごとに提出するようにしてください。
- ・土木事業関係などの請願の際には必ず見取図を添付してください。
- 陳情について
 - ・陳情については、議員の紹介は必要ありませんが、その他については請願とほぼ同じです。

*不明な点は、議会事務局へお問い合わせください。

TEL 0243-55-5144（議事係）

（表紙）

請 願 書（陳情書）

○○○○○○○に関する請願書

紹介議員署名
（または記名押印）

（内容）

件 名

請願の趣旨

理 由

平成○○年○月○日

請願者住所
氏 名 印

二本松市議会議長 様

継続調査結果を報告

市民産業常任委員会

市民産業常任委員会で、継続審査となっていた調査が終了し、菅野明委員長が、6月4日に報告書を議長へ提出しました。

市民産業常任委員会では、平成22年よりこれまで、委員会活動の参考とするため、長期継続的に行うべき事項として1.「農産物のブランド化と6次産業について」、2.「観光交流人口の増加対策について」の2点について、机上審査、現地調査を行ってきており、その調査結果をまとめて、今回報告しました。

1. 農産物のブランド化と6次産業について

○現地調査 平成23年1月24日

○調査先 NPO法人ゆうきの里東和ふるさとづくり協議会、さくらの郷管理組合

2団体からは、付加価値の高い農産物の振興として、有機農産物のブランド化と都市消費者へのPRを進めていることや、地場産品を使った新たな加工品の開発と6次化に向けた自主加工施設整備を模索している等の説明がありました。

調査の結果、地域性を活かした農業振興、地域コミュニティの再生に向けた地域外からの居住の推進、生産、加工、販売を一元化する6次化への取り組みの推進に向け、あらためて地元関係者と十分な協議の上、進めることを要望し報告書にまとめました。



道の駅ふくしま東和会議室で開かれた現地調査



岳温泉観光協会会議室で開かれた現地調査

2. 観光交流人口の増加対策について

○現地調査 平成24年4月26日

○調査先 二本松商工会議所、岳温泉観光協会

2団体からは、市内の商工業と観光業の大震災の被害概況、その後の経過、現状、今後の取り組み等について説明を受けました。

二本松商工会議所からは、二本松城址大手門復元整備を復興のシンボルと位置付け、観光交流人口の増加対策と考えていること等の説明がありました。

また、岳温泉観光協会からは、震災の風評被害の影響が大きく、県外客が大幅に落ち込んでいること、新エネルギー対策としての地熱発電には他地域と連携して、慎重に対応していく等の説明がありました。

調査の結果、観光交流人口の増加による活性化は、まちなかや温泉街それぞれが単独で成り立つものではなく、二本松市全体として、連携した取り組みとすることが必要であり、厳しい状況だからこそ、表面的な活性化ではなく、豊かな観光資源を活かし、地に足の着いた事業を関係者とともに展開し、市においては、実りある観光立市推進に向けた取り組みを進めるよう要望し、報告しました。

第6次産業とは…農業は産業分類では第1次産業に分類され、農畜産物の生産を行うものとされていますが、生産だけでなく、食品加工（第2次産業）、流通、販売（第3次産業）にも農業者が直接かわり、加工賃や流通マージンなどの付加価値を農業者自身が得ることによって農業を活性化させようとするものです。

1(第1次産業)×2(第2次産業)×3(第3次産業)=6(第6次産業)ということで提唱されています。

総務常任委員会審査報告

6月11日に付託された各議案は、6月14日、机上審査が行われ、最終日の本会議で、高橋正弘委員長から審査の経過と結果が報告されました。
主な審査内容をお知らせします。

問 道の駅『安達』下り線施設の厨房機器等の財産取得について、設備配置計画はどのように進めてきたのか。

答 実施設計段階で設計業者及び指定管理予定者の株式会社二本松市振興公社と協議を重ね、必要な備品設備の配置を検討してきた。

問 一般会計補正予算の復興まちづくり計画の計画策定業務委託料について、具体的にはどのような事業内容なのか。

答 復興交付金を元に、今後の本市の復興事業の洗い出し、まちづくりのグランドデザインの計画を行い、計画に基づいて、復興計画推進や交付金の申請に活用していくための事業内容である。

問 支所の施設管理運営経費について、3支所に太陽光発電設備を設置する計画だが、今後の方針については。

答 市の基本的な方針としては、再生可能エネルギーへの取り組みを重視し、可能な限り市内の公共施設へ今後年次計画で太陽光発電装置の設置を進めていく考え方である。3支所については、今年度は実施設計費を計上し、来年度は工事費を計上していきたい。



机上審査の様子



建設中の道の駅「安達」下り線施設

6月定例会で総務常任委員会に付託された議案

議案第51号	専決処分の承認を求めることについて（二本松市税条例及び二本松市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について）
議案第58号	財産の取得について
議案第60号	平成24年度二本松市一般会計補正予算

市民産業常任委員会審査報告

6月11日に付託された各議案は、6月14日から18日の3日間、詳細な審査が行われ、最終日の本会議で、菅野明委員長から審査の経過と結果が報告されました。報告された審査の主な内容をお知らせします。

問 子ども医療費の助成について、県内のどこの市町村でも、受給者証があれば窓口無料となるのか。

答 現状では各医師会との契約があるため、市外の医療機関ではこれまでの手続き同様、後から償還払いとなる。

問 最優先に進める妊婦・子どものいる世帯の除染について、事業者組合に一括して発注されるということであるが、一括発注と別に個人除染といった例外的なやり方を認めてしまうと、事業を効果的、効率的に進める上で問題があるのではないのか。

答 個人除染については、現在検討中であり詳細は未定である。指摘の事項については十分に配慮し、対応したい。

問 現在の市の体制で、住宅除染作業の事務処理の対応は困難ではないか。人的体制整備に向けた対策は。

答 現在の体制では、今後の事務処理の対応が難しい。対策として、市役所内での応援協力体制づくりと、外部からの臨時的雇用などを考えている。事業執行に支障のない体制構築に向け、人員確保に努めたい。

問 今回追加となる塩化カリウム肥料について、各水田への配分量はどのようになるのか。また、肥料の配布の方法は。

答 放射能の吸収抑制対策としての塩化カリウムは、米の緊急調査で4区分した地区それぞれの施用量を県と協議し、面積に応じて決定した。地区毎の施用量の目安については、農家の皆様に対する広報紙でお知らせしたい。肥料の配布については、肥料業者に協力をお願いしたいと考えている。

問 米の全袋検査の人件費と吸着アーム購入費用については、本来市が負担すべきものではない。県との協議

の中で、費用負担等についての協議はなされているのか。

答 全袋検査の人件費、吸着アーム購入費用については、県との協議の中で、補助対象として弾力的に対応したいという話がされており、今後、市の負担が減額となることが考えられる。

問 米の全袋検査機械は一日あたりどの程度稼働させるのか。また、実際に検査は何日程度かかるのか。

答 検査機械の処理速度を1分間に4袋とし、一日8時間稼働させると想定して、今年の市の米の予想収量を基に計算すると、約25.3日かかる。実際には米の移動等の時間も含め条件が変わるためこれより延びるが、できるだけ年内に検査を終わらせたい。

問 畜産業における草地除染について、岳山麓地域では、表土の下は石が多く含まれ、反転耕で効果があるのか疑問。混ぜるよりも今なら表土を剥ぐことで済むのではないのか。

答 草地除染の方法については、環境省のマニュアルに沿った県の技術指導で行うことになる。表土をはいだ場合には、その土を仮置きする場所がないため難しい。



机上審査の様子

6月定例会で市民産業常任委員会に付託された議案

議案第51号	専決処分の承認を求めることについて（二本松市税条例及び二本松市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について）
議案第52号	福島県後期高齢者医療広域連合規約の変更について
議案第53号	二本松市印鑑の登録及び証明に関する条例及び二本松市出産祝金支給条例の一部を改正する条例制定について
議案第55号	二本松市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について
議案第56号	二本松市東日本大震災による被災者に対する市民税等の減免に関する条例の一部を改正する条例制定について
議案第57号	二本松市子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例制定について
議案第60号	平成24年度二本松市一般会計補正予算
議案第61号	平成24年度二本松市国民健康保険特別会計補正予算
議案第62号	平成24年度二本松市工業団地造成事業特別会計補正予算

建設水道常任委員会審査報告

6月11日に付託された各議案は、6月15日に詳細な審査が行われ、最終日の本会議で、斎藤周一委員長から審査の経過と結果が報告されました。報告された審査の主な内容をお知らせします。

問 今回市道認定する路線はどこか。

答 今回認定するのは、2地区5路線である。具体的な場所と名称であるが、油井字南屋敷地内にある旧町営住宅への進入路として使われている道路を南屋敷2号線として、それから、平成23年に民間による宅地分譲が行われた油井字谷地地内の道路4路線を谷地1号線、谷地2号線、谷地3号線及び谷地4号線として認定する。この道路については、市で帰属を受け今回認定するものである。



東部配水池漏水修繕業務の説明を受ける様子

問 福島県下水道公社が公益法人となることによって、二本松市として何か影響は出てくるのか。

答 「財団法人福島県下水道公社」は、本年4月1日から、県知事の認定を受け、「公益財団法人福島県下水道公社」に法人名が改正となったものであり、二本松市には特に影響はない。



机上審査の様子

問 平成24年度二本松市水道事業会計において、東日本大震災により被災した水道施設を解体するための補正予算を計上しているが、対象となる施設はどこか。

答 解体するのは、館野四丁目の杉田第2水源施設、油井字福岡の安達第6水源施設、油井字薬師堂の安達薬師増圧ポンプ場、根柄山ポンプ場、藤兵内ポンプ場、旧藤兵内ポンプ場、小林増圧ポンプ場、小林配水場及び硫黄田水源地の全9施設である。

問 二本松市下水道条例及び二本松市安達処理区及び岩代処理区下水道条例の改正は、外国人登録証明書に関する条項の削除に伴うものであるとの説明だが、下水道業務において外国人の申請が必要となるのはどのような時か。

答 外国人の方が、個人として排水設備工事店の指定を受ける時に必要となる。

6月定例会で建設水道常任委員会に付託された議案

議案第54号	二本松市下水道条例及び二本松市安達処理区及び岩代処理区下水道条例の一部を改正する条例制定について
議案第59号	市道路線の認定について
議案第63号	平成24年度二本松市水道事業会計補正予算

文教福祉常任委員会審査報告

6月11日に付託された議案3件について、6月14日及び15日の2日間、慎重な審査が行われ、最終日の本会議で、本多勝実委員長から審査の経過と結果が報告されました。報告された審査の主な内容をお知らせします。

問 二本松市東日本大震災による被災者に対する市民税等の減免に関する条例の一部を改正する条例制定については、被災者に対する介護保険料の減免を、平成24年度においても行うためとのことであるが、減免に該当する人数は把握しているのか。

答 被災した第1号被保険者は500名程度であり、そのうち、平成23年度は約100名が減免に該当した。平成24年4月から9月までに、新たに第1号被保険者になる方では16名が減免に該当すると思われるので、申請の案内を予定している。

問 給食の食材検査機器を、新たに13台購入することだが、どのような検査機器なのか。

また、現在使用している検査機器は、今後どのように活用するのか。

答 ガンマ線スペクトロメーターの購入を予定している。これにより、1品目あたりの検査時間が2時間から約20分に短縮され、より多くの食材検査

が可能となる。

また、現在の検査機器については、県から貸与されたものと日本赤十字社から譲渡されたものなので、それぞれと協議をしたうえで、今後の活用方法を決定する。

問 公立学校施設災害復旧費での立木伐採等委託料の補正額が高額であるが算定の根拠は。

答 小浜中学校の見積り額を基に算定したものである。学校によっては、大型重機やクレーンでの作業が必要となるため、今回の予算となった。

問 保育所や幼稚園敷地内で、放射線量が比較的に高いとされる法面部分の線量低減化について、どのような対策を考えているか。

答 植木の刈払いや樹木の伐採、枝下ろしなどを予定している。

また、保護者で草刈りなども行っていただいている。



二本松南小学校で立木伐採について説明を受ける様子



小浜中学校で立木伐採について説明を受ける様子

6月定例会で文教福祉常任委員会に付託された議案

議案第53号	二本松市印鑑の登録及び証明に関する条例及び二本松市出産祝金支給条例の一部を改正する条例制定について
議案第56号	二本松市東日本大震災による被災者に対する市民税等の減免に関する条例の一部を改正する条例制定について
議案第60号	平成24年度二本松市一般会計補正予算

一般質問

市の明日を考える!

6月定例会の一般質問は、6月11日から14日の4日間にわたり16人の議員が登壇し、活発な議論が展開されました。

主な質問について、各議員から寄せられた原稿を原文のまま掲載します。

[発言順]

安 齋 政 保

[市 政 会]



- ① 中学校の柔道の授業について
- ② 水田除染について

問

- ① 安全対策については、二本松市柔道協会の協力を受けて行うとのことだが、2学期より柔道授業が始まるにあたって、二本松市柔道協会との協議内容、協力体制や準備について伺う。
- ② 作業委託料の基準は市が設定したのか。



ゼオライト散布の様子

答

- ① 安全面から各校体育教師と派遣講師との複数指導体制で実施する。派遣講師の経費については、武道の必修化に対応するため、福島県教育委員会主催事業として「平成24年度地域スポーツ人材の活用実践支援事業」に準じた範囲で対応したい。
- ② 水田の除染は、県の除染対策交付金を財源とすることから、1ヘクタール当り交付基本額100万円を基準として、近隣の除染作業賃金の動向を調査し、作業単価を積み上げ業務委託一式の事業費を算出した。

熊 田 義 春

[市 政 会]



- ① 施設除染工事の進行状況について
- ② 生活保護受給者について

問

- ① ①幼稚園、保育所、小学校、中学校等のグラウンド覆土工事は。
- ② 小学校、中学校、市営等のプール除染工事は。



プールの除染の様子

答

- ① ①幼稚園は10施設中、2施設完了、1施設が施工中、7施設未着手。保育所は6施設中2施設が施工中、4施設未着手。小・中学校は5月現在5～90%の出来高で10月中旬完了予定。
- ② 5月現在5～50%の出来高でプールサイドの徹底除染を行い小浜、新殿、市民プール6月完了
- ② ①平成23年2月302世帯、平成24年3月314世帯。12世帯増。
- ② 積極的に就労支援及び指導を行い、自立に向け支援を継続する。

高橋 正弘

[あぶくま会]



- ① 東京電力福島原発事故の放射能除染対策について
- ② 市史編纂について

問

- ① ①一般住宅の除染を2年で実施する具体策は。
- ② 24年産米の放射線量の全量検査体制をどうするのか。



住宅の除染作業

- ② 新二本松市の市史編纂事業の計画はあるのか。

答

- ① ①線量の低減化が顕著であった建物周辺の除染と雨樋の除染に重点をおいて実施する。空間線量率の高い地区から、妊婦、子供のいる世帯の除染を優先に実施する。
- ② 安達管内の米を全量検査することとし、同一の機種で必要な台数を確保し実施する。国、県で検査の流れについて検討中。
- ② 新市の市史編纂については検討する必要があると認識しており、今後の課題としたい。

菅野 寿雄

[市 政 会]



- ① 廃用牛及びめん羊の集畜対策について

問

- ① ①県による集畜対策の実施方針・内容について市当局は承知しているのか。
- ② 係り増し経費（飼料代・管理費・運搬費用等）の負担区分は示されているのか。



市内で飼育されている和牛

答

- ① ①和牛は、廃用肥育が可能な農家への異動、集畜を行うこととされており、預託を原則とするが、買取方式も検討されている。めん羊は西郷村の家畜改良センターへ集畜することとされた。
- ② 和牛の経費は東電へ賠償請求することとされ、県とJAがサポートしていくと聞いている。めん羊は、移転費用、防疫費用、集畜の管理費用、集畜施設の改修費用等について、東電が賠償することになった。

佐藤 有

[真 誠 会]



- ① 放射性物質低減化対策とその後の管理について
- ② 本市から県外への自主避難者支援について

問

- ① 通学路などの除染除去の進捗状況と実施後のモニタリングの状況は。汚染物質の仮置き場設置の状況と周辺のモニタリングの頻度は。



市内に設置された仮置場

- ② 本市より県外等への自主避難者数と自主避難者への支援は。

答

- ① 本市355行政区中、118団体が除染を実施、全体の約3割の状況。実施後の測定は、教育委員会関係部局と連携し進める。仮置場の状態とその周辺のモニタリングは、月2回程度測定し状態も監視していく。
- ② 就学前児童207人、小学生94人、中学生15人、その他353人、計669人であり、避難者支援として、市広報誌配布や保育所入所の事務手続き等、要請があれば各種申請等の送付などを行っている。

堀 籠 新 一

[真 誠 会]



- ①原子力災害の対応について
- ②西新殿簡易水道事業について

問

- ①①原子力災害に要した現在までの一般・特別会計歳出総予算は。
- ②除染対策経費は。
- ③健康管理対策経費は。
- ④放射能測定対策経費は。
- ⑤本市の東京電力への賠償額は。
- ⑥農地除染対策事業の単価は。

- ②給水開始時期及び計画戸数の変動と最終給水の時期は。

答

- ①①一般会計203億5,278万7千円。特別会計で960万2千円である。
- ②4億7,313万8千円
- ③5億2,158万4千円
- ④1億568万9千円
- ⑤2億2,705万4千円(3月末まで)
- ⑥10 a 当りの除染事業単価は水田8万5千円、果樹6万7千円、草地10万円。
- ②本管から宅地までの給水装置工事を行い本年8月に給水を開始する見込み。157戸の計画で115戸が希望。平成25年度には完了できる。

小 林 均

[公 明 党]



- ①社会資本ストックの計画的な維持・更新の推進について
- ②通学路の安全対策について

問

- ①①竣工後30年以上経過している公共施設の割合について伺う。
- ②公共施設の改修費用の平準化、最小化を目指すアセット・マネジメントを導入する考えは。
- ③公共施設白書の作成及び施設管理費用、使用料などの公開は。
- ②①全国の事故多発を受け、通学路の危険箇所の調査・点検は。
- ②登下校方策の実施状況及び地域ボランティア等による巡回は。
- ③通学路の車道と歩道の区別などの対策強化について伺う。

答

- ①①築30年以上が43.5%。20年後には耐用年数の50年を超える。
- ②今後多くの公共施設の改修事業が重複・集中する中、重要かつ現実的な行政運営手法と考える。
- ③今後の重要な行政課題であり、効率的な管理、運用に向け研究。
- ②①文科省の要領をもとに通学路の安全点検の実施を指示した。
- ②事故防止の指導と交通教室を実施。市内全てで「見守り隊」実施。
- ③危険箇所に防護柵の設置等、歩行者の安全確保に努めていく。

平 栗 征 雄

[市政刷新会議「創松未来」]



- ①菊人形展の行政と菊栄会との事業運営について
- ②「先人館」の管理運営について

問

- ①①今年度も無料となったが、有料は考えなかったのか。
- ②来年度以降は有料とするのか。
- ②ふるさと村の「先人館」管理運営を教育委員会が行う考えはあるか。



安達ヶ原ふるさと村「先人館」

答

- ①①理事会において、無料開催か有料開催かの検討をした。有料開催とした場合の集客や採算性の問題等総合的に判断し、無料で開催することとした。
- ②来年度以降については、今年度の開催結果や様々な状況をふまえ、判断していく。
- ②「先人館」の展示資料については、資料保存を含めた管理を行ってきた。管理運営についても、よりよい運営ができるよう関係部局と協議の上検討していく。

野 地 久 夫

[市政刷新会議「創松未来」]



- ①井戸水の放射性物質検査について
- ②除染物仮置き場について

問

- ①市の放射性物質検査機の従来機と現機種の違いは。従来機の検査でバックグラウンド値より高い値が出ている井戸水は、新基準地10ベクレルから考慮すると再検査すべきでは。
- ②仮置き場設置の規模的、環境的等の考え方は。仮置き場の設置期間は。国で設置する中間貯蔵施設へ仮置きしている除染物質の移動の考え方は。

答

- ①従来測定器は、飲料水に含まれる放射線量のみの測定でセシウムが正確に測定できなかった。新機種はセシウム等の核種分析が可能になった。基準値が200ベクレルから10ベクレルになったので再検査した方が確実である。
- ②土地の形状等により地下保管型、地上保管型で設置する。設置後は定期的に空間線量を測定する。仮置き場設置期間は5年と考えている。国の中間貯蔵施設は24年度場所選定、運用は3年後としている。

平 敏 子

[日本共産党二本松市議団]



- ①放射能から子どもを守る取り組みについて
- ②学校給食について

問

- ①①屋内遊び場の検討は。
②血液検査、尿検査も実施し、病気等の早期発見の手立ては。
③2年間で全戸除染の具体的な計画は。

④個人が業者に頼んで除染した場合、住民自ら除染した場合の市の支援について。
- ②①今後の学校給食の方針は。

②二本松地区中学校における選択制学校給食の今後の見直しについての考えは。

答

- ①①設置を検討している。
②効果的な検査項目等について検討していきたい。
③予算成立後、妊婦、子供の世帯5,000戸を発注。線量の高い地域を面的に進めていきたい。
④一定の要件を満たす除染に、個人又は業者と市が委託契約を締結して進めることで検討中。
- ②①新たな給食センターを建設することで、事務を進めている。
②給食センター統合建設と併せ、保護者の意見等踏まえ検討する。

菅 野 明

[日本共産党二本松市議団]



- ①市長の政治姿勢について
- ②米の全袋検査について

問

- ①福島原発事故も収束せず原因究明の最中、市民県民の苦悩を顧みず国は原発再稼働に動いている。「脱原発」を目指す市長の認識は。
- ②①本市の米検査機械の必要台数は。不足への対応策は。

②検査時、農家へ協力を求めることになるのか。本来国と東電で全て取組むべきこと。仮にそうなった場合、農家へ協力を求める内容と財政支援は。

答

- ①福島原発事故が未だ収束せず明確な原因究明がなされない中、安全が保証されない段階での原発の再稼働はすべきではない。
- ②①6台。県補助で4台予定し不足2台は当面市単独で予算措置。県・国に財源措置を強く求める。
②飯米・縁故米も全量検査なので米袋購入や検査場への運搬経費等が課題である。今後想定される内容も含め、国・県と協議し農家に負担とならぬよう、財政支援含め国・県・東電に強く求める。

安部 匡俊

[あぶくま会]



- ①山林の除染について
- ②生活保護制度について

問

- ①山林の除染は公共施設に接する場所の計画は公表されているが、市民が所有する広大な山林の除染計画は明確になっていない。山林の除染に対する市の考えは。
- ②①生活保護世帯の認定は。23年度の世帯数と人数、支払われた給付金の総額は。生活扶助費・住宅扶助費・医療扶助費の1世帯あたりの年平均額は。
- ②自立支援策は。合併後6年で不正受給はあったのか。不正受給の未然防止策は。

答

- ①24年度は、住宅連たん区域周辺、市営住宅周辺、公園周辺を計画している。県は国に対し具体策を示すよう要望する。市は民家周辺の森林除染を優先に、計画的に進めていく。
- ②①世帯の収入が最低生活費を下回る場合決定となる。314世帯、453人。総額5億3408万円。生活扶助費約76万円。住宅扶助費約24万円。医療扶助費約109万円。
- ②就労支援専門員を配置。23年度は124件。定期訪問や収入申告の必要性を指導する。

斎藤 広二

[日本共産党二本松市議団]



- ①安達駅周辺整備事業について
- ②農地の土壌検査について

問

- ①①東地区全体計画は。
- ②事業費は。
- ③今後のスケジュールは。



整備が待たれる安達駅の東地区

- ②水田の詳細な土壌汚染マップの作成は。

答

- ①①道路は南北線、東西線、東口連絡線で延長1,040m、幅員14m。駅東口と西口を結ぶ東西自由通路は幅員2.5m、延長40m。東口及び西口駅前広場として10,500㎡整備する。
- ②概算で27億円と見込んでいる。
- ③平成25、26年で道路。26、27年で東口・西口駅前広場と東西自由通路。27年度油王田踏切改良工事で完了と見込んでいる。
- ②除染の際、概ね1haに一箇所測定した。市独自のマップを作成する。

佐藤 源市

[あぶくま会]



- ①東京電力第一原子力発電所事故放射能対策について
- ②平成23年度税収及び滞納状況について

問

- ①①水稻作付後の放射能対策は。
- ②農産物の損害状況及び風評被害状況と今後の対策は。



水稻生育期の放射能対策指導会

- ②①各種税の税収状況及び滞納状況は。
- ②今後の滞納徴収方法は。

答

- ①①市内4地域類型に区分、追肥として塩化カリを配分する。
- ②損害額約16億5,667万円。他に米の特別隔離分及び生乳がある。今後、自主検査機器の追加配備、QRコードを利用した安全管理システムを導入予定。
- ②①市税収納率84.4%、前年比0.2%増。滞納額は市税11億3,916万円、国保税6億4,140万円。
- ②徴収強化月間を定め、催告、訪問徴収、差押等の滞納処分を強化する。

中 田 凉 介

[真 誠 会]



- ①震災後の国の政策に対する市長の基本的認識について
- ②本市子供達の人権と健康に対する基本的認識について

問

- ①被ばく地域である二本松市の首長として、今回の大飯原発再稼働については住民感情も踏まえ、どの様に認識するのか。
- ②復興に伴う見合いの財源に対してどの様に認識をし、本市の財政の健全化を維持しようとするのか。
- ③震災後における二本松市の子供達の人権と健康をどの様な認識のもとに政策を今後遂行しようとするのか。

答

- ①結論として、大飯原発の再稼働については、反対である。
- ②各団体との連携を強め、震災、原発災害復興のための十分な財政措置を国に対して、引き続き、強く求めていく。
- ③原子力災害に遭った子供達はじめ被災者の健康と権利を守るため、国の責任を明確にしつつ、本市の子供達の育成にあたり、環境の確保に最善を尽くして参る。

新 野 洋

[市政刷新会議「創松未来」]



- ①復興工業団地について
- ②原発事故後の定住人口増加対策について

問

- ①復興企業立地補助金は28年度に操業開始の見込みがなければ取り消しとなる。96haの大規模開発では間に合わないのではないかと。市の財政の負担にならないように、リスクを回避できる計画にすべきではないか。
- ②合併から本年4月1日までの減少数は5千人を超え、6月1日現在では57,854人となっている。地区ごとの減少要因を分析し、現状を見据えた総合的な政策の再検討をすべきではないか。

答

- ①5年間という期限付きの復興企業立地補助金を活用した整備を図らなければならないので、熟度を高め段階的な整備等、オーダーメイドの考え方でリスクを回避していきたい。
- ②まずは生活環境の除染に努め、働く場の確保、雇用安定の施策、民間活力を誘導した優良な宅地及び住居の供給、教育環境の整備、子育て支援の充実等、全庁的に諸施策の調整を図り、戦略的に展開していきたい。

最終報告書を提出

市議会災害対策連絡会議

市議会では、平成23年4月21日に議長を委員長とする「二本松市議会災害対策連絡会議」を設置し、市内における東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故の被災状況などをもとにして、当面の対応策等について協議を行ってまいりました。

このたび、これまでの協議内容と経過等を最終報告書にまとめ、市長へ提出しました。

今日まで市民の皆様をはじめ、各種団体の皆様には、避難者の受け入れ等にあたられましたことに対しまして心より敬意と感謝を申し上げます。

東京電力福島第一原子力発電所事故の収束までは、長い道のりとなります。議会として、今後とも事故の早期収束、放射性物質の除染と被ばく対策、市民の健康管理、財政的支援と風評被害を含む放射能問題に関する賠償を関係機関等に強く求めてまいります。

4.	3	にはんまつ市議会だより編集委員会
12		第158回福島県市議会議長会定期総会(～13日)
12		にはんまつ市議会だより編集委員会
17		にはんまつ市議会だより編集委員会
19		第64回東北市議会議長会定期総会(～20日)
20		議員協議会
24		岐阜県多治見市議会会派行政視察受入
26		市民産業常任委員会現地調査
5.	8	大阪府松原市議会財政建設委員会行政視察受入
10		京都府福知山市議会会派行政視察受入
15		愛媛県大洲市議会総務企画委員会行政視察受入
21		議員協議会
21		会派代表者会議
22		全国温泉所在都市議会議長協議会第41回総会
23		全国市議会議長会第88回定期総会
24		安達地方広域行政組合議会議会運営委員会
25		全国市議会議長会天皇陛下拝謁
30		安達地方広域行政組合議会5月臨時会
6.	1	議会運営委員会
1		災害対策連絡会議講演会
1		にはんまつ市議会だより編集委員会
4		市民産業常任委員会継続調査報告
5		平成24年第4回(6月)定例市議会開会
5		議員協議会
20		平成24年第4回(6月)定例市議会閉会
20		議員協議会
26		にはんまつ市議会だより編集委員会
29		千葉県柏市議会会派行政視察受入

市議会ホームページ

市議会の活動を分かりやすくお伝えするためにホームページを開設しています。
ぜひご覧ください。

<http://www.city.nihonmatsu.lg.jp/site/gikai/>

ホームページでは次の情報などが
ご覧いただけます。

- 市議会のしくみ
- 議員名簿
- 議会中継
- 議会だより
- 会議結果一覧
- 会議録検索システム

※ホームページは二本松市のホームページ内にあります。



お知らせ

◎次回の定例会は9月上旬開会の予定です。皆様お気軽に傍聴においでください。

◎市議会だより、または、当市議会に対するご意見ご感想をお寄せください。

あて先 〒964-8601 二本松市金色403-1

市議会だより編集委員会

TEL 55-5143(議会事務局)

FAX 22-6047

E-mail shomu@city.nihonmatsu.lg.jp

原発・放射能 これまでとこれから

～市議会災害対策連絡会議 講演会を開催～

6月1日、日本大学准教授の野口邦和氏の講演会が市役所で開催されました。

これは、議員が放射能について学習するために市議会災害対策連絡会議(委員長 斎藤賢一)が開いたものです。

講師の野口氏は、「原発・放射能これまでとこれから」と題して、「放射線障害の特徴」や、「外部線量を下げするためには」、「優先的に除染すべきは居住地域」等について講演。議員は、放射能に対する理解を深め、除染事業の重要性を再認識しました。



市役所で開かれた講演会の様子

編集後記……………

「3.11」を忘れたかのように7月5日大飯原発が再稼働。市議会は反対を決議。3月から毎週金曜日午後6時、インターネットのツイッターを通じて首相官邸前に集まった人は300人⇒1万2000人⇒4万5000人⇒20万人(6月29日主催者発表)規模に膨れ上がりました。初めてデモに参加した人が圧倒的。新たな「安全神話」への批判に、なぜか大手メディアは沈黙。この動きは人間の尊厳をかけた、誰も押しとどめることのできないものとなりそうです。



私たちが議会だよりの編集を担当しています。よろしくお願いします。

委員長	平 敏子
副委員長	菅野 寿雄
	熊田 義春
	安斎 政保
	深谷 勇吉
	堀籠 新一
	安部 匡俊
	斎藤 広二